



編集 発行：社会福祉法人 啓明会 荅山寮・第二荅山寮
 〒863-0006 熊本県天草市本町下河内 680
 TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090
 E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp
 社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
 インスタグラム「れいざんのニコニコ日より」毎週火曜日更新中



🍂🏆 スポーツの秋 🍂🏆 熊本県親善スポーツ大会ペタンク部門に参加してきました！

『丁寧な支援とは』

施設長 鮎田 一夫

暑さ寒さも彼岸までという言葉も死語になるほど、未だにこ天草では暑さが続いています。彼岸花も暑さの中で元気に咲き、そして散っていきました。

さて、私は年に一度全職員と個別に面談しています。面談のテーマは（私の気分次第で）毎年変わります。今年は「テーマなし」がテーマでした。職員が日頃何を思っているかを知ることが大切と思ったからです。特に、直接支援に関わらない洗濯場のスタッフさん（サポートスタッフと呼んでいます）や受診付き添いから椎茸作業、棟内の掃除消毒までなんでもこなしてくれる職員さん、厨房の職員さんなど、普段会議等にも出席せず、表に出てくる機会が少ない職員の皆さんとの話は、とても貴重です。

支援員は毎日利用者の朝の着替えから始まって就寝まで、ほぼ全ての場面で介助をしています。利用者さんとの距離が最も近い存在

です。しかし、逆にその近さから見えなくなっているところがあるのではないかと。また、日課に沿って支援をしているので、次に何をすべきか分かっているからか時間を気にして、今している介護を終えることが主となり、利用者さんとじっくり対峙するということが忘れがちになっていないか。支援員以外のスタッフさんから「もっと寄り添ってみては」という意見が出ました。支援員は精一杯やっていると思うのですが、少し離れた所から見るとそう見えるといえるのは考えなければなりません。

利用者さんは、やはり一対一で向かい合う事をとっても喜ばれます。ほんのわずかの時間でも、目線の高さを合わせ正面から話を聞く。言葉でコミュニケーションが取れない人には絵カードやその他その人に合った方法を必ず皆がとる。そういった丁寧な対応が利用者の皆さんの精神的安定、ひいては満足度に繋がっているのは確かです。職員にとっても幸せなことだと思います。

サービスの現場より



『事務所便り』

事務長 大塚 伸一

十二月一日までで現在の保険

証が利用できなくなり、マイナ保険証か資格確認書で医療機関、薬局を受診することとなります。マイナ保険証を利用する際は、マイナンバーカードの電子証明書の有効期限に注意する必要があります。マイナンバーカードの有効期限は十年ですが、カードに格納されている電子証明書の有効期限は五年です。電子証明書の有効期限の更新が必要な場合、有効期限通知書（封書）が三ヶ月前には届きますので、更新の手続きが必要となります。有効期限までに更新が来ないまま受診しても、有効期限が切れてから三ヶ月間は健康保険証として利用可能です。資格確認書は、マイナンバーカードの健康保険証利用登録していない方などには、今持っている健康保険証の有効期限内に資格確認書を無償でご本人の申請によらず加入している医療保険者から交付されます。また、健康保険証の利用登録がされたマイナンバーカードをスマートフォンに追加することで、カードを取り出すことなく、スマートフォンをかざして、医療機関・薬局で利用できます。

今後便利な情報等ありましたら、随時お知らせしていきます。



『担当利用者さんへの

取り組み』

荅山寮支援員 川口 真由美

私が担当させて頂いているHさんは二七歳のおしゃれな女性の方です。少し恥ずかしがり屋で、他の利用者さんとは一緒に行動する事が少し苦手な方ですが、日本や韓国のアイドルが好きでよく居室でコンサートのDVDを見ておられます。共通のアイドルの話をすると嬉しそうに話して下さいます。又、外に出る事も好まれ、ご家族からも「居室以外で楽しんで過ごして欲しい」とのご要望もあり、楽しんで朝礼・活動・季節の行事に参加して頂けるよう個人のカレンダーと一緒に作成しました。可愛く飾りをつけ朝礼・活動・行事に参加された時は職員にサインを書いてもらうようにすると、参加後には他職員との会話を嬉しそうにされる様子も見られました。徐々に意欲も見られており寝具整理・掃除のお手伝いを進んで下さる事も増えました。

又、椎茸作業に行く日には自ら「行きたい」との要望も聞かれ、楽しんで参加する事が出来ました。今後も楽しんで朝礼・活動・季節の行事に参加して頂けるよう個人のカレンダーを継続して作成して行きたいと思えます。

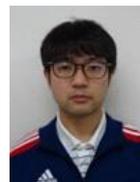


『担当利用者さんへの

取り組み』

第二荅山寮支援員 谷本 朱里

私が担当しているRさんについてお話したいと思います。四月から新しく担当させて頂きました。Rさんの一年間の目標は木工磨きで、作品を造り完成したら行事等でお披露目をする事です。今は日中活動の中でコースター造りにチャレンジしています。第二荅山寮に来られる前に利用されていた事業所でも木工磨きの経験があり、今でもまだ磨き方を覚えておられ上手に手を動かし、磨くことが出来ています。しかし、目線は手元ではなく周りをキョロキョロと見ていて、近くに人が来ると気になる様子で「はくもん。」と言い、あまり集中が出来ていませんでした。声掛けしても様子が変わることはありませんでした。そこで、手や床を汚さないよう、軍手、エプロン、レジャーシートを購入し、それらを用いて作業を繰り返すことで、今から木工磨きをするという意識着けを図りました。今では、活動時間になると「今から何をしますか。」と尋ねると、「木工磨き。」と言われ、積極的に取り組むことが出来ています。もう少しで完成なので最後までサポートしていきたいと思えます。



『天草地区知的障がい者
施設協会合同研修会』
天草寮副施設長 鮎田 一喜

テーマは「支援と組織の“あいだ”をつなぐ」

中間管理職の翻訳と調整の実践を見つめなおす」とあり、職員を対象とした事前アンケートを集計し、結果を交えつつ各グループによる話し合いと発表が行われました。中間管理職は組織の通訳として存在し、利用者と職員に対して理念あるいは方針をどのように伝えていくかという内容でしたが、中間管理職に限らず、どの職員が参加してもいい研修だったと思います。アンケート集計結果によると、理念に関する言葉を日常的に使用しているか、あるいは理念や方針を説明や記録に使った経験はあるかという設問に対して、あると答えた職員は地区全体でそれぞれ約半数でした。半数は使っているが半数はまだ翻訳が必要だと講師の方が言いましたので、理念や方針に書かれた言葉をそのまま使っているかというより、それらに沿った説明や記録をしているか、根付いているかと解釈できます。口頭や書類で伝えられた理念や方針を見るだけで、全て理想通りに動ける人はいません。理念の浸透・翻訳には全体的な傾向として、理念の揭示、年間スケジュールへの組み込み、研修での言及、人事評価への反映といった取り組みが行われているようです。しかし結果を見る

と理念を現場に根付かせるにはこれだけでは足りないという事でしょう。理念を行動に反映したいどの法人も苦慮している印象を受けました。あるグループが自法人の「尊重」という理念に対して、利用者への挨拶が職員ごとに違う事にズレを感じたと発表し、それに対して必ず名前を呼んで挨拶することを徹底したと言われました。理念を現場に合わせて調整した良い例だと思います。講師の方曰く、もし理念が現場の実態とズレていた時、そのズレを認識して調整する事で新しい考えが生まれると説き、ズレ・混乱といったことは施設を見つめなおす機会になるということでした。理念は決して上から与えられるのではなく、コミュニケーションを通じて共有するものとの事です。勤続十年以上の職員は十年未満の職員と比べて、理念を行動に反映できている割合が少し高いのは経験が理念の共有に結び付くからだと言います。私自身、天草寮に来てから最初に感じた印象はとにかく「明るい」ことです。利用者・職員がコミュニケーションを更に進めることが「明るく・素直に・仲良く」を実践していけると先述の内容で確信でき、とても難しいからこそ終わった後も考え続ける研修になりました。



『福祉職員キャリアパス
研修会に参加して』
第二天草寮支援員 若田 香

キャリアパスの段階に応じて共通に求められる能力を段階的、体系的に習得する事を目的とした研修会で、今回チームリーダーコースに参加させて頂きました。研修では、福祉現場におけるリーダーの役割と実践的スキルについて学び、現場で求められるリーダー像を整理しました。その中で「支援の質の向上」「職員間の調整・育成」「組織運営への参画」が強調されました。支援実践におけるPDCAサイクルを基盤とした取り組みの重要性や、利用者一人ひとりの生活を高める為の計画立案と振り返りの手法、クオリティマネジメントやリスクマネジメントの視点から事故防止策等についても具体的に学ぶ事が出来ました。更に、チームの纏め役として、職員の意欲を高める関わり方や働きやすい環境を整える工夫についての学びも得られました。

利用者の方々の満足度を高め、生活の質の向上に繋げるには、職員が一体となって同じ目標を持つ事が大切です。自分が出来る事、役割に自覚と責任を持ち、自分の不十分な部分の改善に向けた努力を怠る事無く、日々の職務に努めていきたいと思えます。

敬老・長寿のお祝い 9月17日

今年は利用者の方と職員合わせて46名の方が御祝いを受けられました。また、還暦や古希、喜寿の節目

の御祝いになられる方は赤や紫色のちゃんちゃんこを着用し式に出席されました。御祝いを受けられる方には、各々の担当者職員から御祝いのメッセージが贈られ、記念品贈呈では年齢の若い利用者の方から受け取られ嬉しそうな笑顔が溢れていました。職員が歌に合わせて踊る催し物や給食の方が作られた豪華な昼食も大好評でした。



【茶山寮：24名】

| | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 伊津野縫子さん (91歳) | 稲田キヨ子さん (86歳) | 中村 英子さん (78歳) |
| 西田 廣幸さん (78歳) | 新谷八重子さん (78歳) | 大久保實也さん (76歳) |
| 赤星 信一さん (76歳) | 小田 義隆さん (76歳) | 祝原 和則さん (76歳) |
| 裏 敬治さん (75歳) | 今井 次男さん (74歳) | 栗原 節子さん (74歳) |
| 福島千恵子さん (74歳) | 金子 順子さん (73歳) | 内古閑元雄さん (73歳) |
| 松本 隆さん (73歳) | 大塚 治代さん (73歳) | 前田の婦子さん (72歳) |
| 園田 幸子さん (71歳) | 田中 忠信さん (古希) | 石川美恵子さん (古希) |
| 坂口美和子さん (古希) | 中村由佳里さん (古希) | 浦田由紀子さん (還暦) |



【第二茶山寮：10名】

| | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 嶽坂 安男さん (82歳) | 柴田 勝則さん (81歳) | 山隈 孝也さん (傘寿) |
| 古川 秋男さん (喜寿) | 山口 忠明さん (73歳) | 坂口 保代さん (72歳) |
| 里 信之さん (72歳) | 山本智夏子さん (古希) | 山本 直尋さん (還暦) |
| 脇中千賀子さん (還暦) | | |

【GHつばさ：3名】

| | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 松本 良勝さん (79歳) | 村本 政春さん (79歳) | 中村 勇さん (73歳) |
|---------------|---------------|--------------|

苓秋祭 10月4日

予定されていた苓秋祭は、雨天の為中止となりました。施設内で施設毎にレクリエーションを行いました。苓山寮は、カラオケ大会・ハイヤ踊り・カキ氷やポップコーン

を食べ、第二苓山寮はカキ氷・ポップコーン・綿菓子・ドーナツの中から好きなものを自分で選んで食べました。笑顔で参加されている利用者も多く、「楽しかった」との声も聞かれました。残念ながら屋外での秋祭りは実施出来ませんでした。法被や甚平を着たり、ハイヤ踊り、祭りの食べ物等、少しでも祭りの雰囲気味わって頂く事が出来ました。



『稜南中学校ワークキャンプ』八月十九〜二十日

二日間、十四名の生徒さんが参加されました。皆さん最初は緊張している様子でしたが利用者さんと一緒に活動やオープンカフェ等の時間を過ごしお話しすることで、自然と笑顔も増え最後は「楽しかったです」と話されました。生徒の皆さんは福祉に興味があられる方など参加理由は様々でしたが、夏休みの貴重な一日を使って来て下さり本当に嬉しく思います。利用者の皆さんもすぐに話し掛けに行って握手を求めたり、和気藹々とした楽しい時間になりました。



『熊本県親善スポーツ大会』

十月五日

宇土市民体育館で開催されました。ペタンク部門に苔山寮一チーム、第二苔山寮から二チーム、グループホーム一チームの計十八名で参加しました。試合になると皆さんチーム一丸となって集中して参加され、上手く円の中心に入った時はガッツポーズやハイタッチをされたり、円から外れると頭を抱えて悔しがられていました。全チームとも表彰台には惜しくも届きませんでしたが、皆さん大会の雰囲気や白熱した試合を楽しまれているようでした。



日常生活の風景

園田 幸子さん



お買い物、可愛いものが大好きな幸子さん。管内買物等の予定を伝えられると目を輝かせ楽しみにされています。体を動かすことには消極的ではありますが、運動会では普段見られない楽しそうな表情で参加されていました。

担当させて頂き、半年ですが新たな一面を見る事が出来ました。好まれている外出の話をすると、したいこと、欲しいものの話を嬉しそうに話されます。今後も一緒に女子トークを楽しみながらウキウキする日々を過ごして頂けたらと思います。

坂中 裕紀さん



グループホーム「かなで」で生活されています。グループホームの利用者さん方は皆さん就労継続支援事業所等で働いておられます。坂中さんも以前は働いておられました。体調を崩され今年の七月からは第二苔山寮の生活介護へ通所されています。最初の頃は戸惑いも見られていましたが今では、すばる班の墓所清掃では欠かせない存在になられています。将来は、また就労したいとのご希望です。日中活動を通して自信をつけ、夢に向かって一緒に歩んでいきたいと思えます。

【お悔やみ】

祝原 光則さん(苔山寮)

長年、当施設を利用して下さいました。明るく笑顔が忘れません。心よりご冥福をお祈り致します。



行事予定

十月

十八、九日 愛藍フェスタ(ここらす)

二九日 亀川小学校交流会

十一月

四日 えがおの会

七日 啓明会総合防災訓練

十日 チャレンジ〇ゼロ

十八日 創立記念日(五八周年)

二三日 勤労感謝の日

二四日 振替休日

十二月

二日 えがおの会

十五日 チャレンジ〇ゼロ

編集後記

今年度も気づけば半年が過ぎました。慌ただしく通り過ぎていく日々の中で「もう半年」「まだ半年」と感じ方はその日によって違いますが、それでも振り返ってみると、確かに積み重ねてきた時間と、そこにあった出会いや出来事の一つ一つが胸に残っています。この冊子が、過去を振り返るためだけのものではなく、「これから一緒に歩んで行こう」という前向きな気持ちにつながれば幸いです。

さて、施設では残り半年の行事も盛りだくさんとなっております。皆さんの素敵な笑顔が引き出せるよう、日々取り組んで参ります。

